

DT-5200 サービスパックに関するご案内

拝啓 貴社益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。
日頃は弊社製品をご利用いただき誠にありがとうございます。

この度、CASSIOPEIA DT-5200 シリーズの一部部品生産終了による製品型番変更に伴い、新モデルに関しまして機能改善を行ったサービスパックを工場出荷時にインストールし出荷することと致しました。
また、ご購入済みの DT-5200 では、同時に Web 上にてリリースいたしますサービスパックのインストールにより同等品となるよう対応を行います。

敬具

< 記 >

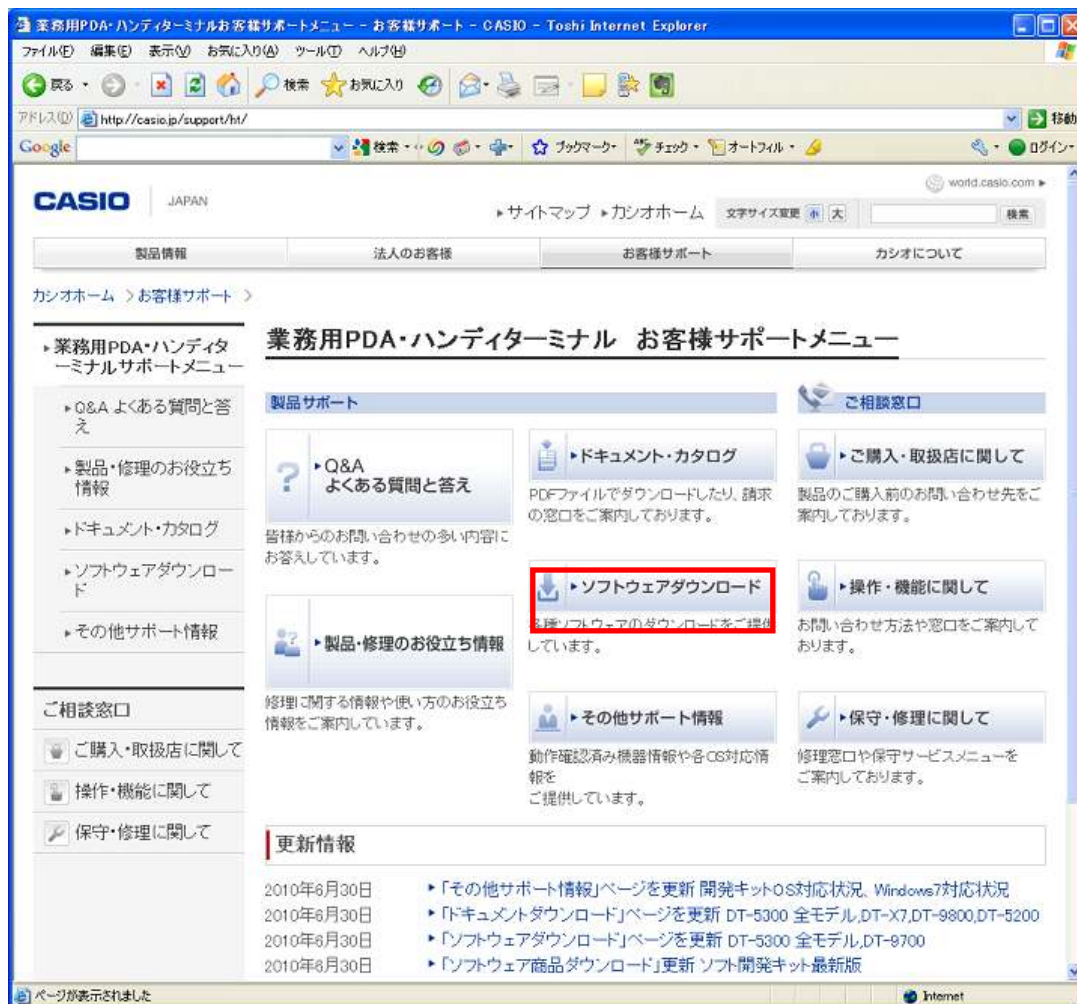
1. DT-5200 シリーズ サービスパックリリース対象機

従来製品名	新製品名	備考
DT-5200M50B	DT-5200M50D	RAM64MB 搭載モデル
DT-5200M50CB	DT-5200M50CD	RAM64MB・カメラ搭載モデル
DT-5200M50SB	DT-5200M50SD	RAM64MB・無線 LAN 搭載モデル
DT-5200M50SCB	DT-5200M50SCD	RAM64MB・カメラ・無線 LAN 搭載モデル
DT-5200M55B	DT-5200M55D	RAM64MB 搭載モデル、シルバー
DT-5200M55CB	DT-5200M55CD	RAM64MB・カメラ搭載モデル、シルバー
DT-5200M55SB	DT-5200M55SD	RAM64MB・無線 LAN 搭載モデル、シルバー
DT-5200M55SCB	DT-5200M55SCD	RAM64MB・カメラ・無線 LAN 搭載モデル、シルバー
DT-5200M60B	DT-5200M60D	RAM128MB 搭載モデル
DT-5200M60CB	DT-5200M60CD	RAM128MB・カメラ搭載モデル
DT-5200M60SB	DT-5200M60SD	RAM128MB・無線 LAN 搭載モデル
DT-5200M60SCB	DT-5200M60SCD	RAM128MB・カメラ・無線 LAN 搭載モデル
DT-5200M65B	DT-5200M65D	RAM128MB 搭載モデル、シルバー
DT-5200M65CB	DT-5200M65CD	RAM128MB・カメラ搭載モデル、シルバー
DT-5200M65SB	DT-5200M65SD	RAM128MB・無線 LAN 搭載モデル、シルバー
DT-5200M65SCB	DT-5200M65SCD	RAM128MB・カメラ・無線 LAN 搭載モデル、シルバー

2. 入手方法

サービスパック 1.04 及び 2.04 は下記 URL のカシオサポートサイトのソフトウェアダウンロードから入手してください。

URL: <http://casio.jp/support/ht/>



3. サービスパック対応一覧

(1) サービスパック Ver1.04 (M5x シリーズ用) 対応内容

分類	対応内容	備考
無線ドライバ	・アンテナ性能向上に伴うローミング動作タイミング、受信電波強度表示の互換維持対応	・サービスパック Ver1.03 で対応済み
IrDA ドライバ	・IrDA モジュール部品変更に伴い新旧どちらのモジュールでも制御できるよう対応	
USB 接続設定	・WindowsVista に搭載されている WindowsMobileDeviceCenter との接続するための設定追加	
PCMCIA ドライバ	・PHS カードによる通信中に、カードの抜き差しまたはコントロールパネル上での電源OFF/ONで、PHSカードが使用不可になる問題の対応	
バッテリードライバ タッチパネルドライバ	・サブバッテリーが電圧低下していないのにごくまれにサブバッテリー低下メッセージが表示されることがある問題の対応	・砂時計非表示パッチ 1.00 で対応済み
タッチパネルドライバ	・砂時計非表示問題対応	
BT プロトコスタック	・初期化を繰り返すとエラーになる問題の対応	・サービスパック Ver1.03 で対応済み ・BT プロトコスタックパッチ Ver1.02 で対応済み
BT プロトコスタック V2.0	・DT-5200***D 搭載の新 Bluetooth モジュール用ドライバ	・新規追加
レーザーキャナ	<ul style="list-style-type: none"> ・デコーダ学習機能の追加 ・デコーダカスタマイズ機能の変更 ・デコーダ追加機能の追加 ・Code128 の FNC2、FNC4 読取に関する機能を追加 ・RSS-14 Stacked、RSS Expanded Stacked コード読取機能追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・レーザーキャナパッチ Ver1.02 で対応済み
	<ul style="list-style-type: none"> ・蛍光灯に向かってスキャンするとレーザが点灯したままとなりフリーズする問題に対応 ・OBROpen、OBRStartScanning、OBRClose 関数を連続実行すると OBR_ERROR_SCANNING を返すことがある問題対応 	・レーザーキャナパッチ Ver1.04 で対応済み
イメージキャナライブラリ	・デコード用プレビュー表示に、デコード領域を示すフレームを表示する機能を追加	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・イメージキャナライブラリパッチ Ver1.00 で対応済み
アプリケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・モバイルカメラにデジタルフラッシュ機能を追加 ・レーザー設定ツールの Code128 出力フォーマットに FNC2 と FNC4 読取機能設定項目を追加 ・イメージキャナデモに読み取り範囲枠表示機能の追加 ・レーザー設定ツールに RSS-14 Stacked、RSS Expanded Stacked コード読取機能を追加 ・レーザーキャナデモに、RSS-14 Stacked、RSS Expanded Stacked コード読取結果表示機能を追加 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・アプリケーションパッチ Ver1.03 で対応済み
カメラドライバ	・デジタルフラッシュ機能を追加	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・カメラドライバパッチ Ver1.02 で対応済み
システムエラー対策パッチ	・まれにシステムエラーが発生し、黒画面になる問題の対応	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・システムエラー対策パッチ Ver0.01 で対応済み
無線 LAN パッチ	・無線 LAN 接続の安定性の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・無線 LAN パッチ Ver1.06 で対応済み

デバイス制御ライブラリ	・RSS スタックコード読み取り対応	・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・デバイス制御ライブラリパッチ Ver1.10 で対応済み
	・SysGetOffMaskTime が正しく動作しない問題の対応 ・SysSetNormalDefineKey が正しく動作しない問題の対応 ・Code128 の FNC4 で規定されたキャラクタを表示できるよう改善 ・FLKReadStatus 関数を呼び出すと、呼び出しているアプリケーションが異常終了する可能性がある問題の対応	・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・デバイス制御ライブラリパッチ Ver1.02 で対応済み
	・サービスパック Ver1.02 で対応された機能を提供するためのライブラリの対応	・デバイス制御ライブラリパッチ Ver1.13 で対応済み
FLCE	・ディレクトリ付き削除指定にて、FlashDisk 下のフォルダが削除できない問題の対応	・サービスパック Ver1.02 で対応済み ・FLCEパッチ Ver1.02 で対応済み
KEY	・Fn キーによる特殊動作制御を追加	・サービスパック Ver1.02 で対応済み
LED	・無線/B T の L E D 点滅制御 スタンバイ状態での消灯機能の追加	
無線 LAN	・無線 LAN 設定ツールの追加 ・ネットサーチツールの機能改善 グラフ表示、状態確認ツールとして独立	・無線 LAN パッチ 1.10 で対応済み
	・WinInet 通信に時間がかかることがある。 ・DynamicWEP+AP のグループキーローテーション設定で通信できなくなる。 ・TKIP 通信中 Key ローテーションのタイミングで通信が切断される場合がある。 ・電波の弱いところでサスペンド/レジュームを行うと無線が動作しなくなる場合がある。	
USB Host Client	・USB MODEM 【OMRON ME5614U2】 対応ドライバの追加 ・LAN クレイドル 【HA-D6210】 対応ドライバの追加	・サービスパック Ver1.02 で対応済み
	・素早い抜き差しでのメモリーリーク問題対応 ・インストール時ユーザーレジストリを書き換える不具合対応	・USB-LAN クレイドルドライバパッチ 1.30 で対応済み
USBD	・USB 認識エラーメッセージの抑制	・USB-LAN クレイドルドライバパッチ 1.30 で対応済み
カメラ	・無線接続中のカメラ撮影でまれにエラーになる問題の対応	・サービスパック Ver1.02 で対応済み
エクスプローラ	・スタートメニューの表示速度の改善 ・タスクトレイを隠す設定にしても自動的にタスクトレイが隠れない事がある問題の対応	
USB Client	・ActiveSync 接続中に PC をログオフすると、PC がまれにハングする事がある問題の対応	
システムライブラリ	・Fn キー特殊制御/LED 制御/擬似 OFF 関数追加	・サービスパック Ver1.02 で対応済み
	・DT-5200***D 用のバージョン取得関数追加	・新規追加(バージョン情報表示で使用)

・赤字の記述はサービスパック Ver.1.04 での対応内容

・黒字の記述はサービスパック Ver.1.03 以前での対応内容

(2) サービスパック Ver2.04 (M6x シリーズ用) 対応内容

分類	対応内容	備考
無線 LAN	・アンテナ性能向上に伴うローミング動作タイミング、受信電波強度表示の互換維持対応	・サービスパック Ver2.03 で対応済み
	・WinNet 通信に時間がかかることがある。 ・DynamicWEP+AP のグループキーローテーション設定で通信できなくなる。 ・TKIP 通信中 Key ローターションのタイミングで通信が切断される場合がある。 ・電波の弱いところでサスペンド/レジュームを行うと無線が動作しなくなる場合がある。	・無線 LAN パッチ 1.10 で対応済み
USB Host Client	・素早い抜き差しでのメモリーリーク問題対応 ・インストール時ユーザーレジストリを書き換える不具合対応	・USB-LAN クレドドルドライバパッチ 1.30 で対応済み
USBD	・USB 認識エラーメッセージの抑制	・USB-LAN クレドドルドライバパッチ 1.30 で対応済み
レーザーキャナ	・蛍光灯に向かってスキャンするとレーザが点灯したままとなりフリーズする問題対応 ・OBROpen, OBRStartScanning, OBRClose 関数を連続実行すると OBR_ERROR_SCANNING を返すことがある問題対応	・レーザーキャナパッチ 1.04 で対応済み
IrDA ドライバ	・IrDA モジュール部品変更に伴い新旧どちらのモジュールでも制御できるよう対応	・サービスパック Ver2.03 で対応済み
USB 接続設定	・WindowsVista に搭載されている WindowsMobileDeviceCenter との接続するための設定追加	
PCMCIA ドライバ	・PHS カードによる通信中に、カードの抜き差しまたはコントロールパネル上での電源 OFF/ON で、PHS カードが使用不可になる問題の対応	
バッテリードライバ タッチパネルドライバ	・サブバッテリーが電圧低下していないのにごくまれにサブバッテリー低下メッセージが表示されることがある問題の対応	
タッチパネル	・砂時計非表示問題対応	・砂時計非表示対策パッチ 1.00 で対応済み
BT プロトコルスタック	・初期化を繰り返すとエラーになる問題の対応	・サービスパック Ver2.03 で対応済み ・BT プロトコルスタックパッチ Ver1.02 で対応済み
BT プロトコルスタック V2.0	・DT-5200***D 搭載の新 Bluetooth モジュール用ドライバ	・新規追加

※ M6x シリーズでは、M5x シリーズのサービスパック Ver1.02 対応項目は ROM-OS で対応済みです。

- ・赤字の記述はサービスパック Ver.2.04 での対応内容
- ・黒字の記述はサービスパック Ver.2.03 での対応内容

4. 互換性

サービスパックは、DT-5200 シリーズすべてでご使用いただけますが、事前にご使用の環境でのテストを十分に行って頂けるようお願い致します。

サービスパックの適用により従来に比べ RAM、FlashDisk の使用量が下記の通り増加します。

サービスパックをインストール時には、モジュール更新ツールもインストールして、使用量を調査しました。

モデル	サービスパックインストール状態	RAM		FlashDisk
		プログラムメモリ	データメモリ	
M5x シリーズ	“サービスパック無し”から“Ver1.04”	約 1.2Mbyte 増加	約 4.4Mbyte 増加	約 6.5MByte 増加
	“Ver1.02”から“Ver1.04”	約 116KByte 増加	約 2.1MByte 増加	約 2.2MByte 増加
	“Ver1.03”から“Ver1.04”	約 36KByte 増加	約 1.3MByte 増加	約 1.1MByte 増加
M5xB シリーズ	“サービスパック無し”から“Ver1.04”	約 1.1MByte 増加	約 4.4Mbyte 増加	約 6.5MByte 増加
	“Ver1.02”から“Ver1.04”	約 136KByte 増加	約 2.1MByte 増加	約 2.2MByte 増加
	“Ver1.03”から“Ver1.04”	約 28KByte 増加	約 1.3MByte 増加	約 1.1MByte 増加
M6x シリーズ	“サービスパック無し”から“Ver2.04”	約 396Kbyte 増加	約 2.9MByte 増加	約 3.58MByte 増加
	“Ver2.03”から“Ver2.04”	約 124Kbyte 増加	約 1.4MByte 増加	約 1.2MByte 増加
M6xB シリーズ	“サービスパック無し”から“Ver2.04”	約 380Kbyte 増加	約 2.9MByte 増加	約 3.58MByte 増加
	“Ver2.03”から“Ver2.04”	約 100Kbyte 増加	約 1.4MByte 増加	約 1.2MByte 増加

従来より DT-5200 をご使用で、サービスパックの未適用あるいはサービスパック Ver1.02、1.03、2.03 適用の DT-5200 シリーズが存在する環境では、サービスパックの適用の有無の混在や各バージョンが混在しないようご配慮をお願い致します。

(※サービスパック Ver1.04(M6x の場合 Ver2.04)をインストールした状態で運用頂く事を推奨いたします。)

5. アプリケーションのインストール

使用中のマスター機から本体間コピーで新モデルにアプリケーションをインストールする場合、下記の方法で実施する様、お願いします。ここで新モデルとは DT-5200M50D のように末尾に D がつくモデルを言います。

- ① マスター機の FlashDisk¥CE¥ARM フォルダに ダウンロードしたファイルの DATA¥CE¥ARM フォルダ内のファイルをコピーします。
- ② マスター機をリセットします。サービスパックがインストールされ、リセットされるのを待ちます。
- ③ マスター機でバックアップを取ります。
- ④ 本体間コピーでマスター機から FlashDisk 内のみ、子機にコピーします。
- ⑤ 子機でバックアップファイルからリストアします。
- ⑥ 子機で個別設定後、バックアップを取ります。

以上